



緊急事態！

令和5年11月30日
枚方寝屋川消防組合

住宅火災による犠牲者が今年の3倍に！

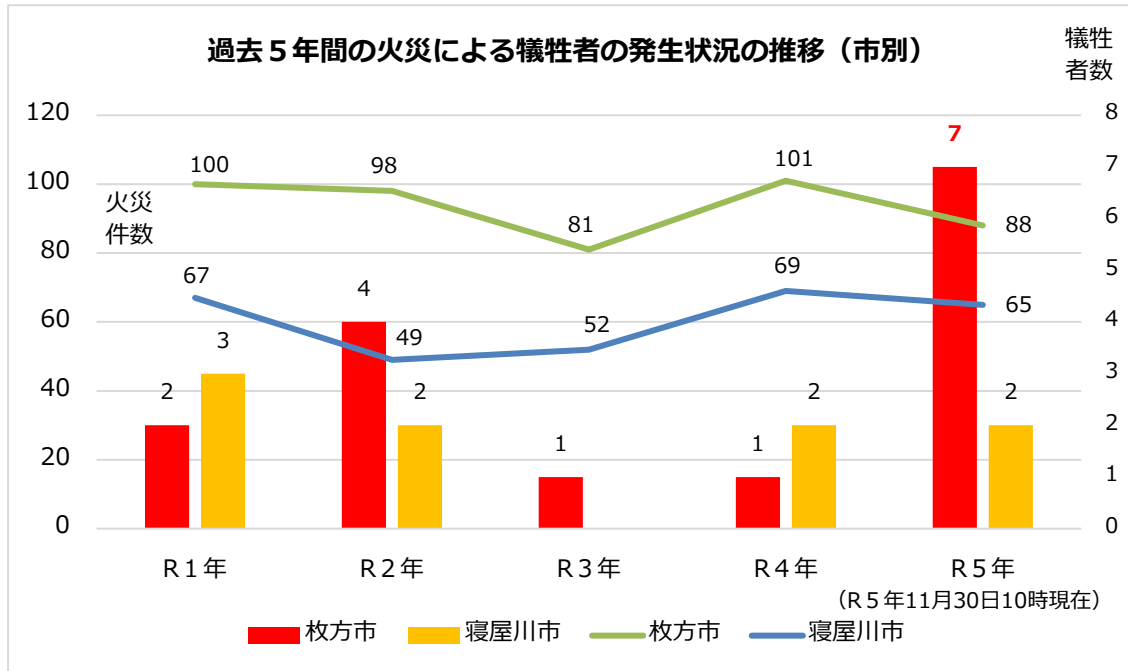
令和5年11月30日10時現在で、住宅火災による犠牲者は9人（枚方市7人、寝屋川市2人）発生し、今年の同時期と比較すると6人増加しています。枚方市では、今年に比べ6人増加しており、11月中に2人の尊い命が住宅火災で奪われました。

本消防組合では、火災による犠牲者がこれ以上、発生しないよう市民に対し注意喚起を実施します。

1 過去5年間の火災による犠牲者数の推移

令和5年1月1日から11月30日10時現在で、火災による犠牲者が9人発生し、今年の同時期と比べ6人増加しています。

火災による犠牲者に占める高齢者の割合は約6割（5人）です。主な出火原因は、「たばこ」4件、「放火」1件、「ストーブ」1件、「不明または調査中」3件となっています。



2 本消防組合の取り組み

これ以上、火災による犠牲者を発生させないため、公式 SNS を活用した広報活動、消防車両による広報活動及び枚方市の防災無線を活用し、市民に注意喚起を実施します。

3 大切な命を火災から守るために

(1) 住宅用火災警報器の設置及び適切な維持管理

住宅用火災警報器を設置することで火災を早期に発見し、速やかな通報や消火、避難が可能となり、被害を防止、軽減することができます。特に高齢の方は、住宅火災による被害に遭いやすいことから、住宅用火災警報器の設置が有効です。住宅用火災警報器は「寝室・階段」に設置し、適切に維持管理をしましょう。

- ①半年に1回点検をしましょう。点検は、「ボタンを押す」または「付属のひもをひく」ことで実施できます。正常な場合は、正常を知らせる音声や警報音が鳴ります。
- ②設置後10年を経過したものは、電子部品の劣化や電池切れにより火災を感知しなくなるおそれがあるため、機器本体や電池を交換しましょう。
- ③全ての部屋の住宅用火災警報器が一齐に鳴動する「連動型」や一酸化炭素なども感知して火災の発生を知らせる「複合型」等、効果的な付加機能の付いた機器を設置するとより安心です。

(2) 消火器の設置

消火器による初期消火は、火災の被害抑制に効果的です。一般住宅向けの小型で軽量の住宅用消火器もありますので、火を使う場所には消火器を備えましょう。

(3) 放火防止対策

火災を防ぐためには、市民の皆さま一人ひとりが放火火災に対する危機意識を持ち、防止対策を心がけるだけでなく、地域全体で放火されない、させない地域環境づくりを心がけましょう。

これからの時期、空気が乾燥し火災が発生しやすくなります。火の取扱いには十分にご注意ください。

【問い合わせ先】

枚方寝屋川消防組合

警防課 TEL 072-852-9919

予防指導課 TEL 072-852-9912

企画戦略課（広報）TEL 072-852-9906